

# 新年 賀 謹



雪をまとった伯耆富士（大山）



# よなび

第616号  
令和6年1月発行  
電子版第73号

「地域と共に」

## 年頭の挨拶

第八普通科連隊長兼ねて米子駐屯地司令

阿部 正昭



米子駐屯地は本年、創設七十四年を迎えます。この間、隊員、ご家族、諸先輩、そして、地域の皆様とともに歴史と伝統を継承しつつ成長してまいりました。

国際情勢が厳しさを増し、気候変動等により大規模な自然災害が発生しており、また、新型コロナウイルスの感染拡大等を経験している中、私たちは地域の皆様に更に安心と安全を感じていただくことが重要と考えています。

このため、「また来たい米子駐屯地」を駐屯地ビジョンに掲げ、法と秩序を遵守した自由で開かれた米子駐屯地を目指して厳しい訓練に励みつつ働き方改革を行い勤務環境をより良く改善し、「米子駐屯地良い

な、また行ってみたい」と思われるよう取り組んでいるところです。

昨年は、各種防衛警備任務、災害対応のための訓練や米国における実動訓練への参加と国内外の任務へ対応しつつ、米子がいな祭といった地域の行事への参加・協力をを行う等、地域との連携を重視して隊務を運営してまいりました。本年もいっようなる任務を与えられようとも迅速かつ柔軟に対応できるよう、日夜練成に励むとともに、地域と共にある駐屯地として精進していきます。

我々に求められる能力は、刻々と変化しています。この変化に対応するために隊員それぞれの立場で自ら考えて行動することが求められます。

米子駐屯地は、自ら考えて行動できる元気の隊員とともに如何なる任務も意欲的に実行していきますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます、年頭の挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

米子駐屯地隊協力会

会長 青砥 隆志



隊員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

米子駐屯地は、昨年三月に第四十一代司令として着任された阿部司令をはじめ、歴代の司令のもと、

厳しい訓練を通じて精強な部隊を築き上げること尽力され、国民の生命と安全を守るという崇高な任務を遂行されていることに深く敬意を表します。

さて、旧年を振り返りますと、五月に新型コロナウイルス感染症が五類感染症に引き下げとなり、十月に開催された米子駐屯地創設七十三周年記念行事は三、九〇〇名もの来場者を迎え、大盛況となりました。また、部隊におかれましては日頃の活動はもとより、県内中高生への職場体験学習の受入れ、大山清掃ボランティア、米子がいな祭への参加など、地域への支援協力を積極的

に実施されたことにもあらためてお礼申し上げます。

自衛隊に求められる任務や役割は多様なものとなり、自国の防衛だけでなく、国際的な平和協力活動や大規模災害への派遣等、任務の重要性を認識され、精進されますことを願いたします。

我が国周辺の国際的な緊張が高まる中で、自衛隊の存在が我々の安心・安全を確保する上で益々重要なものになってきており、私ども協会も地域の皆様に自衛隊に対する理解と更なる支援を層賜るために、引き続き努力を続けたいと考えております。

年頭にあたり、米子駐屯地部隊の皆様のご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

いま、その一歩を踏み出すとき

# JAPAN PRIDE

## 自衛官募集

詳しくは自衛隊鳥取地方協力本部まで  
TEL: 0857-23-2251 または 鳥取PCO 検索



# 米国における実動訓練 ライズング・サンダー23



記念撮影

第八普通科連隊は、十月下旬から十一月中旬にかけて第十五即応機動連隊、第十四情報隊、第五対戦車ヘリコプター隊及び西部方面システム通信群等と協同しアメリカ合衆国ワシントン州ヤキマ演習場において諸職種協同訓練を行った。

ヤキマ演習場は、東京二十三区の約二倍という広大な面積を誇る演習場であり、主に国内では制限される各種装備火器の能力を最大限発揮した射撃訓練が行えることから、その米国の広大な訓練基盤を活用し各種装備火器の実弾射撃訓練等を実施した。

連隊は、本訓練において戦術技量の向上及び諸職種協同により一連の攻撃行動における作戦遂行能力向上を図る事が出来た。

連隊はこの貴重な訓練を糧として、今後いかなる任務にも対応すべく日々訓練に励み更なる強化に努めていく。



狙撃



現地における調整



訓練開始式



優秀隊員表彰



01ATM射撃



120mm重迫撃砲



選手宣誓 第3中隊 瀬川士長



命令下達



立姿による射撃



中間姿勢による射撃

## 連隊射撃競技会

連隊は、十二月中旬、米子射撃場において科目を小銃射撃として連隊射撃競技会を実施した。本競技会は、連隊の戦技能力の向上を目的として、連隊独自で実施しているものであり、その練度の維持・向上を図るものである。

各中隊に所属する隊員は、規定のタイム内に、立姿、中間、伏撃の各射撃姿勢において射撃を行い、命中数により個人の部・中隊対抗の部で争われ、日頃の訓練成

果を発揮した。その結果、各隊員が精度の高い命中率を見せた第一中隊が優勝した。

連隊は今後も各種競技会を通じて練度の維持・向上に努めていく。



観閲式



巡閲



観閲行進



観閲行進



追悼式の様子



追悼式

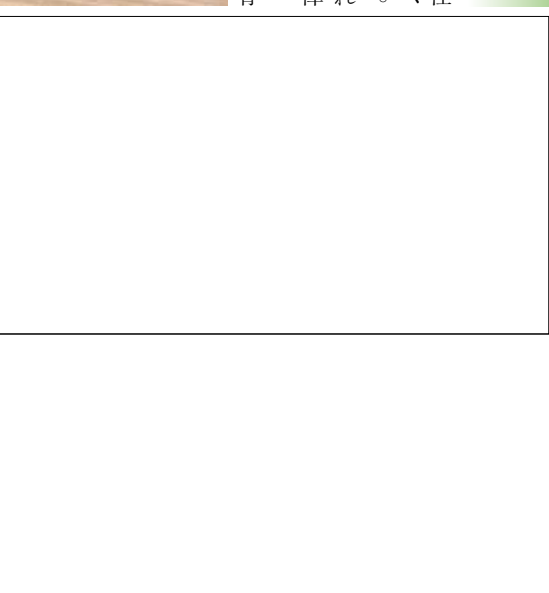
第八普通科連隊は、十一月二十六日に行われた第十三旅団創立二十四周年・海田市駐屯地創設七十三周年記念行事に参加した。連隊からは、連隊長以下七十名の隊員及び二十五両の車両が観閲式に参列し、海田市駐屯地において、威風堂々たる姿で招待者や訪れた来場者に第八普通科連隊の姿を披露した。また鳥取県旗も車両行進において披露され鳥取県の存在を大いにアピールし旅団記念行事に花を添えた。

前日、二十五日には追悼式が行

われ連隊からは連隊長、最先任上級曹長が代表して献花を行い、旅団管内の殉職隊員を追悼した。また、旅団隷下の各部隊でもそれぞれの駐屯地において同時に追悼式が行われた。

連隊は今後も第十三旅団の骨幹部隊となり、信頼される精強な部隊を目指して邁進していく。

## 旅団記念行事に参加



鳥取県旗の行進



# 積雪寒冷地部隊としての訓練始まる

第八普通連隊は、第十三旅団管内で唯一の積雪寒冷地部隊に指定された冬季装備を保有する部隊である。

毎年月上旬から二月下旬頃までその練度を維持・向上するためスキー訓練を行っている。また、広大な地域を担当する積雪寒冷地部隊であることからその重要性は極めて高い。

各中隊は部隊スキー指導官を中心として冬季訓練を行いスキー機動、積雪地における戦闘要領及び野外における宿営など様々な訓練を行い積雪寒冷地部隊としての練度向上に努めている。

更に、冬季戦技訓練隊を活動させ各種バイアスロンの競技に参加



スキー機動



部隊スキー指導官認定試験



冬季における戦闘（狙撃）



冬季における戦闘（小銃小隊）



バイアスロン射撃予習



バイアスロン大会の様子



新補職者教育

## 訓練始まる

し国民体育大会等にも出場している。バイアスロンとは、ウィンタースポーツにおける二種競技のことで、クロスカントリースキーとライフル射撃を組み合わせた競技であり冬季近代「種」と呼ばれる。

また、スキー指導者を育成する部隊スキー指導官養成訓練を毎年行い指導者の育成にも力を入れている。

その他にも、移動してきたスキー未経験の隊員や昨年入隊した隊員を対象として新補職者訓練を行いスキー技術の基礎を教育している。

連隊は積雪寒冷地部隊としていかなる任務にも対応すべくこれからも練度向上に努めていく。

## 募集広報の日

十二月十日米子駐屯地において、島根・鳥取県の入隊予定者及び募集対象者に対し、地方協力本部が企画する募集広報の日を支援した。

募集広報の日は、自衛隊に対する理解促進を目的として年間を通して行っており、今回米子駐屯地は駐屯地紹介、施設研修、体験喫食及び隊員との懇談を行った。

施設研修においては、米子駐屯地に所在する第十三後方支援隊の整備工場や入隊後に教育隊で実際に使用する居室等を見学していただいた。

その後、体験喫食において米子駐屯地の隊員と同じ食事を喫食し、隊員との懇談では、教育隊での訓練内容や休日の過ごし方など、さまざまな質問に対して隊員が答える様子が伺えた。

駐屯地は今後も継続して募集広報活動を行い更なる連携・強化に努めていく。

## 大山きやらぼく保育園

## 自衛隊を体験

米子駐屯地は十二月二十九日、大山きやらぼく保育園（年長）の園児四十一名に体験学習を実施した。

大山きやらぼく保育園は「笑顔かがやく、たくましい、みんなとつながる子供を目指す」を子ども像としており、心と体を元気にする活動を年間通して行っている。

園は、四季折々の身近な自然に触れ地域のボランティア活動や交流を多数取り入れている保育園であり、その活動の中でぜひ自衛隊を体験させて欲しいと保育園から要望をいただき今回初めてこの体験学習が実現した。

園児は、警務隊車両の展示説明、簡易的なロープを使用した体験及びほふく前進体験を行い存分に体を動かして自衛隊を体験した。園児からは「楽しかった」「また来たい」といった声が多数聞かれ満足した様子であった。今後も駐屯地は、部隊見学・



ロープ体験



警務隊車両の展示・説明



ほふく前進展示の様子



ほふく体験



教育隊の居室見学



教育隊訓練見学



体験喫食



隊員との懇談

職場体験を積極的に行い地域との繋がりを大切にして地域と共に歩んでいく。



恩返し

本部管理中隊 高岡 玲奈



私は二十歳になるにあたり恩返しをしたい人がいます。それは父と祖母です。私が中学二年の冬に両親は離婚し、母がいます。まだ中学二年という事もありません。毎日のように泣いていました。父は当時、単身赴任をしており、家にほとんどいませんでした。その父の代わりに祖母が毎日のご飯や、洗濯や掃除などの家事をほとんどしてくれました。

まだ母がいなくなった生活に慣れていない時期は、辛さから朝も起きられなく、時々学校を遅刻して泣いていました。時々「他のみんなにはお母さんがいるのに、なんでこんな思いをしないといけないの」と思うこともありましたが、ほかの友達とは授業参観に母親が来ていて、自分だけ母が来ないから父に「授業参観に来ないで」と言われたこともありました。まだ中学生の私には母がいなくて耐えられませんでした。そして中学三年になる頃父が単身赴任から帰ってきたので、父が父の単身赴任の解除は、私が高校を卒業するまでという条件付きでした。長いようで短い四年間、父は今まで祖母がしてくれていた、洗濯や掃除などをしてくれて、高校に入ると毎日早起きしてお弁当を作ってくれました。父が作るお弁当はどれも美味しかったです。休みの日にはドライブに連れて行ってくれたり、いろいろなものを買ってくれたり、すごく嬉しかったです。高校三年になり進路を決める時期に私は大学に行くか、就職するかで迷っていました。

そこで私は、人の役に立つ仕事をしたかったことや、父や祖母に恩返しをしたかったことで、陸上自衛隊に入隊を考えた。周りの人達は、今までは自分では何もできなかった私が、自衛隊に入隊することを反対しました。ところが、父に相談したところ、快く「いいんじゃないか」と応援してくれたので、周りと同じように反対されなかった私は嬉しかった。すると同時にとても嬉しかったのを覚えています。

今現在、入隊して二年と短いですが、毎月給料が入ると父と祖母に仕送りをしています。少しでも楽をしてもらいたいです。まだまだ、恩返しはできていないと思っているので、これからもたくさんお恩返しをしていきたいと思っています。自衛隊は、時には辞めたいと思う事もあります。ですが、いろんな人が私を応援してくれていると思うと、意地でも頑張ろうと思います。私は、将来自衛隊を続け、階級を上げ、父と祖母を支えられるような人になり、そして仲間や地域の人達に信頼してもらえような大人になりたいと思います。

今現在、入隊して二年と短いですが、毎月給料が入ると父と祖母に仕送りをしています。少しでも楽をしてもらいたいです。まだまだ、恩返しはできていないと思っているので、これからもたくさんお恩返しをしていきたいと思っています。自衛隊は、時には辞めたいと思う事もあります。ですが、いろんな人が私を応援してくれていると思うと、意地でも頑張ろうと思います。私は、将来自衛隊を続け、階級を上げ、父と祖母を支えられるような人になり、そして仲間や地域の人達に信頼してもらえような大人になりたいと思います。

してはならないからです。仕事をしながら家庭のこともすることは出来ないですが、その苦勞が分かっていたからこそ家族のありがたみを感じます。今だからわかるこの気持ちを最大限に生かし、後悔しないよう母に最大の恩を返していけたらなと思います。社会人になり、二十歳を迎え母親になる私は経験はまだ浅いですが、立派な大人なので、今自分が何ができるのか、これから自分の子供に何を教えるか、天国にいる祖母、今もお世話になっている母、関わっていたい方々、泣いてくれた兄に「兄弟の中で一番身体の小さいお前は無理だろう」とバカにされました。しかし、今では私の事を一番理解してくれて頼りになる大切な家族だと心底感じています。

私は、高校卒業後、陸上自衛官以外の仕事も経験しておきたかったので、建築関係の解体業で半年間アルバイトをして陸上自衛隊に入隊しました。今、私が配属されている職場では学校生活や解体業の時とは違い一緒に働く方々の年齢層が幅広く少人数の上、各業種が多岐にわたっています。そのため、あらゆる場面で学ぶ事が多く大変ですが、毎日が勉強になります。

私は恩師の先生のような尊敬できる人間になるために、レンジャー教育や銃剣道等様々な戦術などに積極的に挑戦して有事や災害派遣の際率先して現場で活躍出来る陸上自衛官になり、自分自身の成長や自信に繋げていきたいです。そのためにはまず身体の大ささの差を補えるように日々体力の向上に努め、あらゆる状況にでも耐えられる身体作り知識及び技能を一つでも多く習得し、一人前の社会人として扱われるよう強い責任感と自覚を持ち、また誰か人の役に立てる様な立派な大人の姿を両親はじめお世話になった全ての方々へ見せる事が出来るように日々頑張りたいです。

# 米子市 二十歳を祝う会 記念感想文



後方支援隊 石川 晃明

この度、新成人になるにあたり今まで私を育ててくださった両親をはじめこれまで私に関わってくださった全ての方々に「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えたいです。これまで私に関わってくださった方は居なかつたと思います。中学三年生の時、受験や将来の夢がなかなか決まらず悩んでいました。

そんな時にも尊敬の出来る素晴らしい恩師となる先生と出会いました。先生はよく「他人事を自分事にしろ」と言っておられました。当初は、「この人は何を言っているんだろ」と分からなかつたのですが、それは後に「何かに困っている人を見かけた時、自分が同じ立場ならどう思うか」と言う意味だと知りました。その意味

を理解してから今までただ過ごしていただけの生活が全く違う物に感じるようになりました。その時から人の役に立っている仕事をしてみたい、恩師の先生のような他人に寄り添える優しい人間になりたいと強く思うようになりました。今でも大切にしている言葉であり、私が陸上自衛官という仕事を選んだ動機でもあり「陸上自衛隊に入隊したい。」という気持ちを母親に話した時、私は反対されるどころか「思っていました。母親は言「自分のやりたい事があるなら出来る所までやってみればいんじゃないか」と言ってくれました。それを一緒に聞いてくれた兄に「兄弟の中で一番身体の小さいお前は無理だろう」とバカにされました。しかし、今では私の事を一番理解してくれて頼りになる大切な家族だと心底感じています。

私は、高校卒業後、陸上自衛官以外の仕事も経験しておきたかったので、建築関係の解体業で半年間アルバイトをして陸上自衛隊に入隊しました。今、私が配属されている職場では学校生活や解体業の時とは違い一緒に働く方々の年齢層が幅広く少人数の上、各業種が多岐にわたっています。そのため、あらゆる場面で学ぶ事が多く大変ですが、毎日が勉強になります。

大切なもの 会計 齋藤 明生



私の家は母子家庭で姉が一人おり、祖父母が営む旅館で一緒に暮らしていました。仕事が忙しい母に代わり、食事など面倒を見てくれたのは祖母でした。祖父はスキー競技に力を入れていた私

大切なもの 会計 齋藤 明生

大切なもの 会計 齋藤 明生

大切なもの 会計 齋藤 明生

大切なもの 会計 齋藤 明生

大切なもの 会計 齋藤 明生

大切なもの 会計 齋藤 明生

栄光



安来市駅伝 八普通第二中隊 優勝 一区 安松二曹 二区 森下曹長 三区 渡邊三曹 四区 榎原士長 五区 藤原二曹 六区 向原二曹 ※全区間で区間賞獲得

国宝松江城マラソン2023 完走 本部管理中隊 松本二曹 飯塚三曹 川辺三曹 信藤三曹 松本曹長 赤瀬一曹



陸士特技課程「偵察助教 第十三偵察隊長より褒賞状 本部管理中隊 山本二曹

連隊射撃競技会 優勝 第一中隊 個人の部 第一位 第一中隊 岩波曹長 第二位 第二中隊 竹内三曹 第三位 第二中隊 瓜生二曹

今年度における広報紙「よなご」の切手代を賜り、ありがとうございました。加藤 友美様、山本 昇 様、山口 藤雄様、榎山 敏紀様、福島 久男様、豊留 廣志様、深川 辰雄様 の各位。

冬の味覚である松葉ガニの初競りが十一月月上旬に鳥取県で行われ、最高級ブランドと呼ばれる「五輝星」に四匹が認定をされたそうです。その中でも今年の最高値は二八〇万円の値がつけました。過去にさかのぼると二〇一九年には、鳥取県において五〇〇万円で落札されギネス記録に認定されているそうです。



編集後記

一般的にはズワイガニや毛ガニはカニの仲間ですが、トラバカニはヤドカリの仲間と分類されます。ズワイガニや毛ガニは手足が十本ですがトラバカニは、見た目は八本ですが実は甲羅の中に足が一本あるそうです。しかしその足は、歩くのには使われておらず甲羅を掃除したりする程度しか使われていないそうです。ちなみに北海道で有名な花咲ガニも甲羅の中に足があり実は十の足をもちます。